

令和3年度 事業報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

事業概要

当センターにおいては、社会参加への意欲ある健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与すること」を念頭に、安全で適正な就業の推進、会員拡大に向けて新入会員の募集を図る方策に取り組んでまいりました。

事業実績については、就労会員の不足が顕著になっている中、解消を図るための方策として、広報紙「シルバー大島」・会報誌「シルバー大島会報」並びに町広報誌への掲載等により会員募集に力を入れてまいりました。

また、作品展・ゲートボール大会の開催等により普及啓発・会員増強に努めましたが、思うような会員増強には至りませんでした。

長年請負事業としていた「役場庁舎夜間管理業務」は警備業法に抵触する懸念があるとの東京しごと財団から指導を受け、委託契約を解除した事や、適正就業の遵守を図るため、就労会員の不足により大規模な草刈り作業等の受託を減らさざるを得なくなった事が大きな要因となり、特に公共事業の契約金額、受託件数等の前年度比は減となりました。

令和3年度事業実績一覧表

(金額単位円)

		令和3年度	令和2年度	比較
契約金額	公共	92,839,811	105,582,927	△ 12,743,116
	民間	25,083,947	25,862,346	△ 778,399
	合計	117,923,758	131,445,273	△ 13,521,515
受託件数	公共	462	568	△ 106
	民間	465	542	△ 77
	合計	927	1,110	△ 183
就業延実人員	公共	2,805	3,162	△ 357
	民間	1,318	1,514	△ 196
	合計	4,123	4,676	△ 553
就業延日人員	公共	14,819	16,239	△ 1,420
	民間	4,216	4,414	△ 198
	合計	19,035	20,653	△ 1,618
配分金	公共	77,803,584	92,403,950	△ 14,600,366
	民間	22,403,419	22,900,089	△ 496,670
	合計	100,207,003	115,304,039	△ 15,097,036
材料費	公共	8,438,881	5,609,983	2,828,898
	民間	1,215,648	1,468,824	△ 253,176
	合計	9,654,529	7,078,807	2,575,722
事務費	公共	6,597,346	7,568,994	△ 971,648
	民間	1,464,880	1,493,433	△ 28,553
	合計	8,062,226	9,062,427	△ 1,000,201

事業報告

1. 就業開拓提供事業

公共事業につきましては、大島町・東京都及び関係諸団体に対して、就業開拓等日常的に連携を深めてまいりましたが、警備業法に抵触する懸念から「役場庁舎夜間管理業務」の契約を解除した事や、適正就業の遵守を図るため、就労会員不足により請負事業の受託を減らさざるを得なくなった事等により、公共事業で前年比約 12.1%減、民間事業で約 3%減の契約実績となりました。今後の就労会員増強策に課題を残すこととなりました。

また、長年当センター独自事業として行っていた「あしたば佃煮製造販売」を、需要の低下等により令和3年度末をもって廃止しました。

2. 普及啓発事業

広報紙「シルバー大島」年2回の発行、会報誌「シルバー大島会報」隔月発行、また、大島町のご協力により「広報おおしま」に会員募集記事を掲載、各団体主催行事等へのボランティア参加活動については、コロナ禍の影響により行事等の中止により活動は無く、当センター主催の作品展・ゲートボール大会の開催等については、コロナ感染症拡大により開催が危ぶまれましたが、感染予防対策を十分図った上で、会員・役職員の協力により実施し、地域住民との交流を図るとともに、就業開拓及び会員拡大を同時に推進する活動に努めました。

3. 研修・講習事業

東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会については、コロナ感染症拡大の影響により、集合形式の会議・研修を行わず、書面或いはオンラインによるリモート形式で役職員が受講等し報告することにより、情報の共有化を行い、安全就業・適正就業の推進を図りました。

4. 調査研究事業

会員の適正な就業を推進するとともに、当センターの適正な組織運営と体制作りを図るため、理事会及び各委員会と事務局との連携を密にし、大島町・東京しごと財団等の協力を得て、法令遵守、適正な請負契約、就業のあり方等について改善に努めました。

5. 相談事業

入会を希望する相談及び会員に対する就労相談を随時センター施設内で実施するとともに、事業委員会ではコロナ感染症拡大の影響により、就業現場訪問を行わず、アンケート調査による会員の相談事業を実施しました。

また、今年度は23名の方が新規入会され、更に会員増強を図る目的で平成28年度に制定した「会員紹介報奨制度」を活用した、既存会員による声掛け運動により、新規入会者の内14名の方が入会しました。

しかし、過去3カ年の会員数については、元年度（231名）、2年度（223名）、3年度（222名）となっており、会員数については横ばいとなっていますが、退会者とともに未就労会員が多く、事業運営に支障を来していますので、今後就労会員の確保に力を入れて行きます。

6. 安全就業推進事業

シルバー事業の最優先課題でもある、安全就業推進のための転倒事故防止や、熱中症対策、コロナ感染症予防対策等の会員へのお知らせ（会報誌「シルバー大島会報」）により、タイムリーな周知を行いました。

また、安全管理委員会による就業先への安全パトロールの実施により、安全就業の徹底を図り長年「事故ゼロ」を達成して来ましたが、今年度は3件の事故（内死亡1件）が発生するなど残念な結果となりました。

なお、事故内容については、転倒・落下によるもので、事故原因の分析調査等を行い、再発防止の対策を図りました。

7. 法人運営

公益社団法人の運営について、理事会のもとに組織的で機能的な事業運営を行うため、総務委員会において関係規程の改正（案）、事業計画（案）、収支予算（案）等の検討を行い、法令遵守のもと運営全般の把握や事務の効率化等について、理事会及び各委員会を中心とした組織運営に努めました。

また、適切な経理処理と運営全般に繋がる会計期中・決算及び業務監査を行い、監査機能の充実を図りました。